



2023年9月29日

各 位

会 社 名 アジア航測株式会社
代表者名 代表取締役社長 畠山 仁
(コード：9233 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役経営本部長 中島 達也
(TEL. 044-969-7230)

新長期ビジョン・新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年10月から2033年9月までの10年間を対象とした新長期ビジョンと、2023年10月から2026年9月までの3年間を対象とした新中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「アジア航測グループ 長期ビジョン 2033」の概要

ミッション 『空間情報技術で社会をつなぎ、地球の未来を創造する』
ステートメント
対象期間 2023年10月から2033年9月までの10年間
業績目標（連結） 売上高：600億円 営業利益：45億円 ROE：10%

2. 「アジア航測グループ 中期経営計画 2026」の概要

テーマ 事業ポートフォリオ経営の確立
多様な人財が集まる企業グループの形成
対象期間 2023年10月から2026年9月までの3年間
業績目標（連結） 売上高：450億円以上 営業利益：30億円以上 ROE：9%以上

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以 上

本資料で開示されているデータ及び将来に関する予測は、本資料発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであります。そのため、経済情勢や市場動向等、様々な要因によって変化する可能性もあり、記載された目標・予想等の達成及び将来の業績を保証するものではありません。



アジア航測グループ 長期ビジョン2033

2023年10月 ~ 2033年9月
【第77期】 ~ 【第86期】



『空間情報技術で社会をつなぎ、地球の未来を創造する』

長期ビジョンに込める想い

私たちは、これまで国土の保全や社会インフラにかかわる様々な課題に対し、「測る技術」を基軸とした事業により、解決策を提供し続けてきました。しかし昨今、私たちが直面する社会課題はより複雑化していることに加えて、気候変動に伴う自然災害の激甚化など、より高度なリスクや課題への対応を求められています。

私たちの社会的使命は、先人達が紡いできた技術や事業を基盤に、過去と現在、未来をつなぐ地理空間情報を核として、常に技術の深化や探究により新たな価値の創造に挑戦し続けることであり、更には社会課題に誠実に向き合い解決するエンジニアリング企業として、安全・安心で持続可能な社会の構築に貢献することです。「お客様、株主の皆様、パートナー、地域社会、そして従業員と共に誰もが豊かで、楽しく、安全に、住みよい地球の未来を創りたい」、これが長期ビジョンに込める私たちの想いです。

目指す姿

1. 新たな空間情報技術の深化と探究により社会に貢献し続ける企業
2. センシング技術に挑み、社会にイノベーションを提供し続ける企業
3. 社会のサステナビリティ構築に向けて技術や事業を提供し、持続的な成長を続ける企業
4. ステークホルダーとのエンゲージメントを高め、従業員と社会の幸せを共に創り続ける企業
5. 経営基盤の強化に努め、透明性が高く、社会から信頼され続ける企業

経営目標

財務

2033年9月期

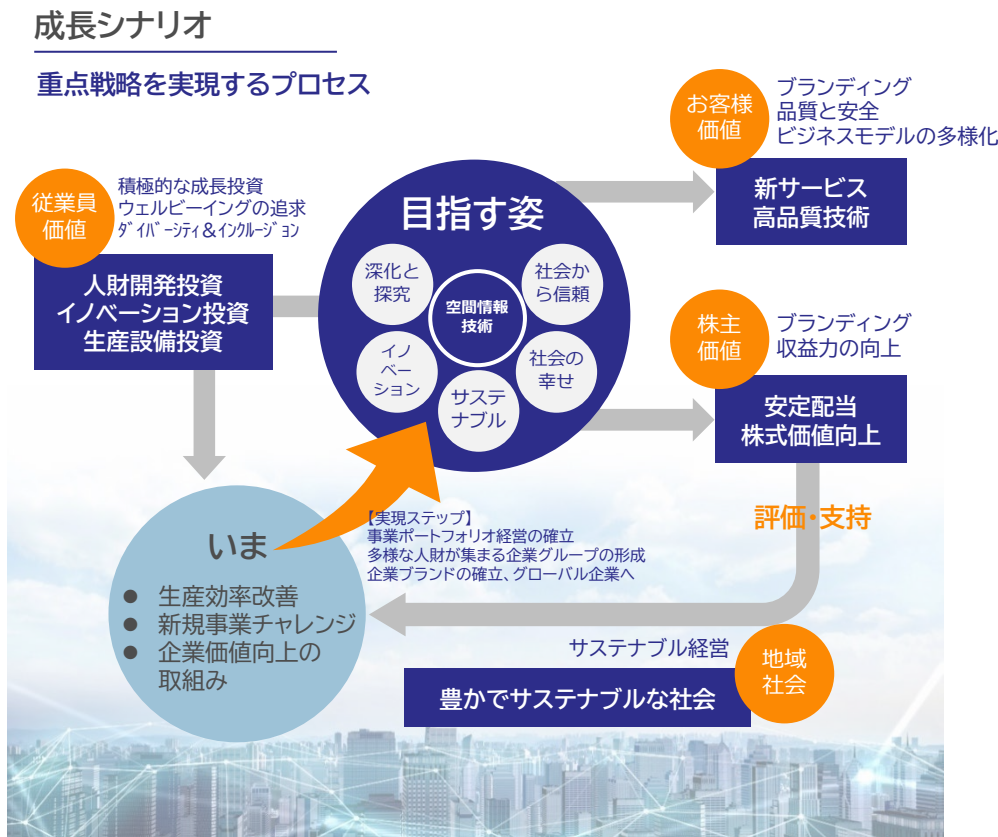
売上高 **600**億円 営業利益 **45**億円 ROE **10**%

非財務

CO₂排出量 2030年までに**42**%削減
(2020年度比)

※サステナビリティ、多様性・人的資本、コーポレート・ガバナンス等に関する情報は、有価証券報告書等において開示

事業活動と企業マネジメントの両面から重点課題(マテリアリティ)に取り組む戦略を設定



未来年表

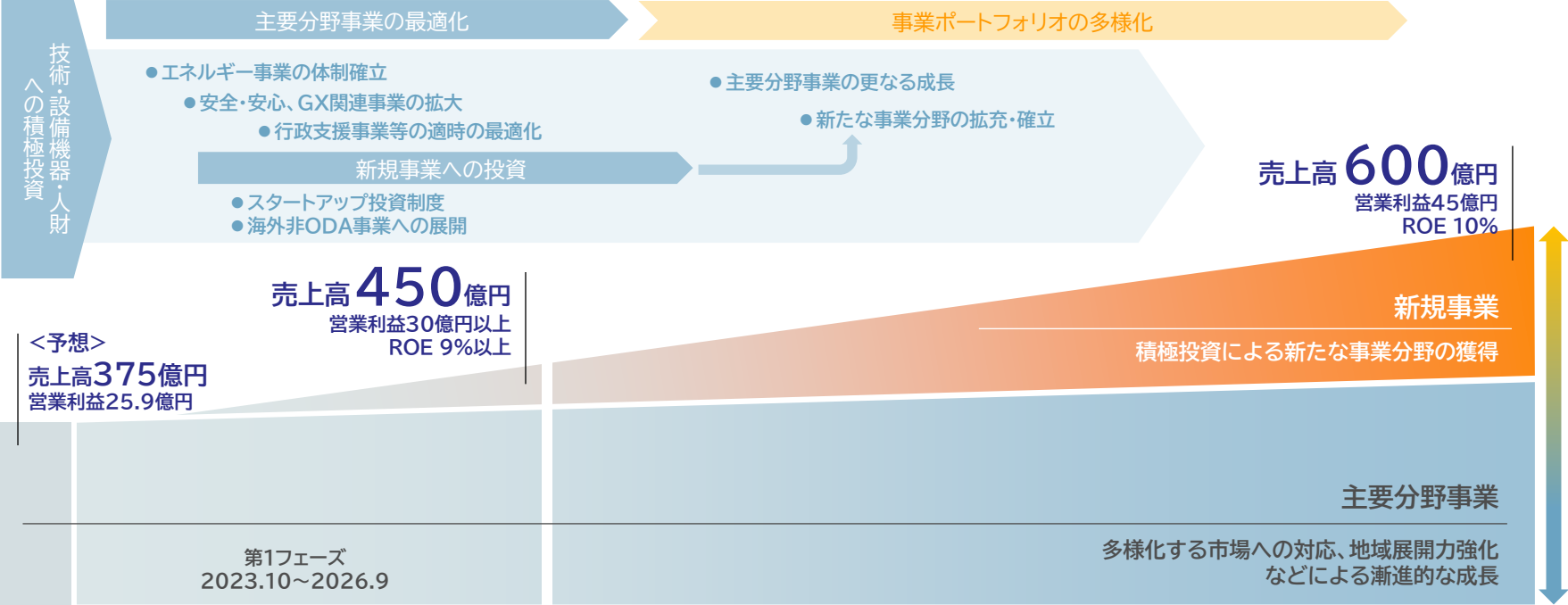


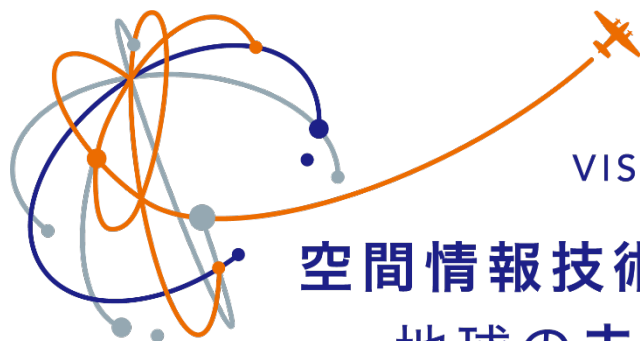
2023.10 2033.9

技術・市場動向 社会情勢

- 第4次宇宙基本計画(2020~2030)
 - 無人航空機レベル4飛行
 - 防衛力強化(~2027)
 - 改正国土強靱化基本法の成立
 - PPP/PFI推進(2022~2032アクションプラン)
 - SX/GX/DX
 - デジタルツイン・メタバース市場成長
 - 安全保障・再エネ市場拡大
 - 公共事業予算7~9兆円低水準維持(1998年15兆円ピーク)
 - 準天頂衛星7機体制運用
 - 3D都市モデル500都市整備
 - 防衛力強化(2027~2037)
 - 流域治水プロジェクト推進加速化
 - 5Gカバー率97%
 - インフラ点検3巡目(2024~)
 - 高速道路自動運転(レベル4)
 - 行政サービス100%デジタル化
 - AI・ロボットによる労働代替
 - スタートアップ投資10兆円(2022年1兆円)
 - 高齢化社会の進行加速化
 - 労働人口減少加速
 - 大震災の発生確率が高まる
 - 無人自動運転実用化
 - 再エネ電源35%以上
 - バイオジェット燃料商用化
 - 温室効果ガス削減(2013年度比46%削減)
 - 多様性社会への対応強化
 - 脱炭素先行地域の実現
 - MaaS国内市場の拡大
 - 空飛ぶクルマのサービス拡大
 - システム統合等の加速化
 - 社会インフラの大半50年超
 - 世界人口85億人(2022年80億人)
 - 日本人人口1.2億人を切る(65歳以上35%)
- 各省庁・団体公表資料より抽出

事業ポートフォリオ ・ 数値目標





VISION2033

空間情報技術で社会をつなぎ 地球の未来を創造する

本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したもので、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢・競合状況・天候等に関わるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。



アジア航測株式会社
ASIA AIR SURVEY CO.,LTD.

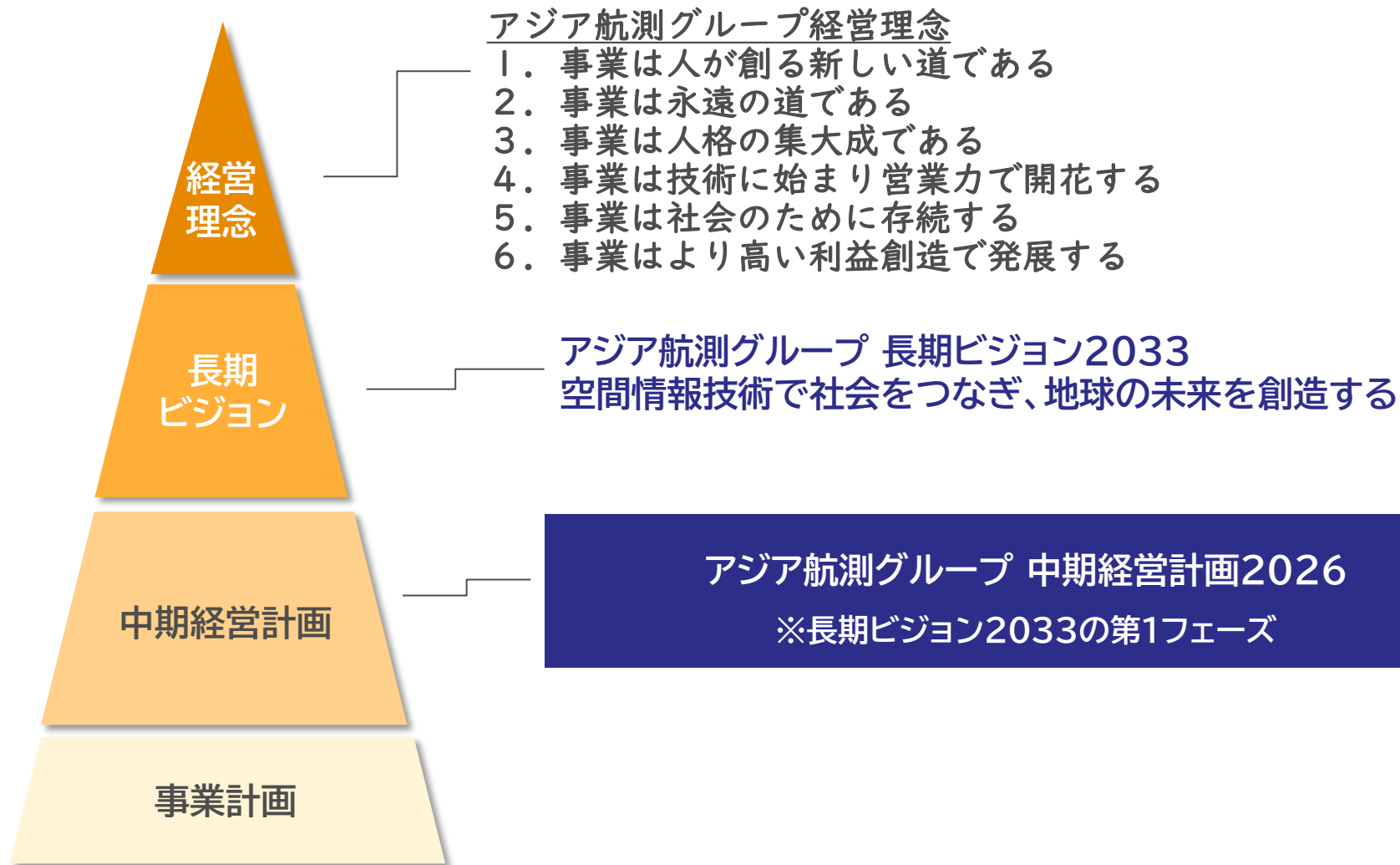


アジア航測グループ 中期経営計画2026

2023年10月 ~ 2026年9月
【第77期】 ~ 【第79期】



アジア航測グループ 経営ビジョンの体系





前中期経営計画(2020.10~2023.9)の総括 業績達成状況

テーマ

明日を共創(つくる) ~Leading for the Future~

中期目標

Contribution

- ・ 空間情報ビジネスにおけるトップランナーへの成長
- ・ 連結売上高340億円の達成

Globalization

- ・ 全社グローバル体制の再構築
- ・ 国内技術の海外展開の推進

Alliance

- ・ 事業連携の推進
- ・ 新規事業分野の拡大
- ・ ベンチャー起業支援

Value

- ・ お客様:空間情報コンサルタントとして、最も信頼されるプロフェッショナル企業
- ・ 社 員:働く喜びと強い誇りを持てる企業
- ・ 株 主:挑戦と持続的成長がわかりやすく見える企業

	2021年9月期 第74期			2022年9月 第75期			2023年9月期 第76期		
	目標	結果		目標	結果		目標	予想(※)	
売上高	310億円	325億円	○	330億円	336億円	○	340億円	375億円	—
営業利益	14.1億円	23.3億円	○	23.7億円	24.6億円	○	24.4億円	25.9億円	—
ROE	8%	10.6%	○	8%	9.8%	○	8%	—	—

※決算発表前のため、2023年8月10日に開示済みの業績予想を掲載



前中期経営計画(2020.10~2023.9)の総括 主要戦略の取組み状況

総括

- 研究・技術開発投資、設備投資、新規事業投資、人財投資、経営管理投資を積極的に行った結果、「AAS-DXI 事業戦略」、「AAS-DXII 経営管理戦略」ともに順調に進捗
- DX戦略や人財開発戦略等は、引き続き中期経営計画2026に継承して推進

	当初目標	結果総括								
AAS-DXI 事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● 10大重点事業の戦略的推進 ● センシングイノベーションが生活・インフラに融合した未来社会の構想の実現 ● X-テック事業への新規参入 ● オンラインとオフラインの融合を実現する次世代空間情報サービス研究・技術開発・事業開発 	<table border="1"> <tr> <td>重点事業</td> <td>● 国土強靱化、インフラDX、安全保障などの国の施策の後押しもあり、事業量を拡大</td> </tr> <tr> <td>センシングイノベーション</td> <td>● ロボット点検技術、xRソリューション、AIを活用した自動処理技術・サービス等の開発の推進</td> </tr> <tr> <td>新規事業</td> <td>● AI・IoTベンチャーへの出資、共同開発の実施、「海の地図プロジェクト」の推進支援</td> </tr> <tr> <td>設備投資</td> <td>● 航空機、航空センサー、車載型センサー等の機器・プラットフォームの追加導入</td> </tr> </table>	重点事業	● 国土強靱化、インフラDX、安全保障などの国の施策の後押しもあり、事業量を拡大	センシングイノベーション	● ロボット点検技術、xRソリューション、AIを活用した自動処理技術・サービス等の開発の推進	新規事業	● AI・IoTベンチャーへの出資、共同開発の実施、「海の地図プロジェクト」の推進支援	設備投資	● 航空機、航空センサー、車載型センサー等の機器・プラットフォームの追加導入
	重点事業	● 国土強靱化、インフラDX、安全保障などの国の施策の後押しもあり、事業量を拡大								
センシングイノベーション	● ロボット点検技術、xRソリューション、AIを活用した自動処理技術・サービス等の開発の推進									
新規事業	● AI・IoTベンチャーへの出資、共同開発の実施、「海の地図プロジェクト」の推進支援									
設備投資	● 航空機、航空センサー、車載型センサー等の機器・プラットフォームの追加導入									
AAS-DXII 経営管理戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦略人事システムの推進 ● テレワークの推進など新たな働き方改革の推進 ● 基幹システムの強化 ● 生産基盤強化 ● 企業価値向上の取り組み推進 	<table border="1"> <tr> <td>人財開発</td> <td>● キャリアパス制度の見直し、DX人財育成プログラムの導入、戦略人事システムの導入</td> </tr> <tr> <td>働き方改革</td> <td>● テレワーク制度の本格導入、フリーアドレスオフィスの一部導入、「健康経営優良法人2023」認定</td> </tr> <tr> <td>基幹システム</td> <td>● 業務プロセス改革、新基幹システム導入に向けたプロジェクト推進</td> </tr> <tr> <td>企業価値向上</td> <td>● 自社機へのSAFの利用、「生物多様性のための30by30アライアンス」参画</td> </tr> </table>	人財開発	● キャリアパス制度の見直し、DX人財育成プログラムの導入、戦略人事システムの導入	働き方改革	● テレワーク制度の本格導入、フリーアドレスオフィスの一部導入、「健康経営優良法人2023」認定	基幹システム	● 業務プロセス改革、新基幹システム導入に向けたプロジェクト推進	企業価値向上	● 自社機へのSAFの利用、「生物多様性のための30by30アライアンス」参画
		人財開発	● キャリアパス制度の見直し、DX人財育成プログラムの導入、戦略人事システムの導入							
		働き方改革	● テレワーク制度の本格導入、フリーアドレスオフィスの一部導入、「健康経営優良法人2023」認定							
		基幹システム	● 業務プロセス改革、新基幹システム導入に向けたプロジェクト推進							
企業価値向上	● 自社機へのSAFの利用、「生物多様性のための30by30アライアンス」参画									

中期経営計画2026の概要

フェーズ 第1フェーズ 77期～79期(2023.10～2026.9)

テーマ 事業ポートフォリオ経営の確立
多様な人財が集まる企業グループの形成

業績目標 売上高 450億円以上
営業利益 30億円以上 ROE 9%以上

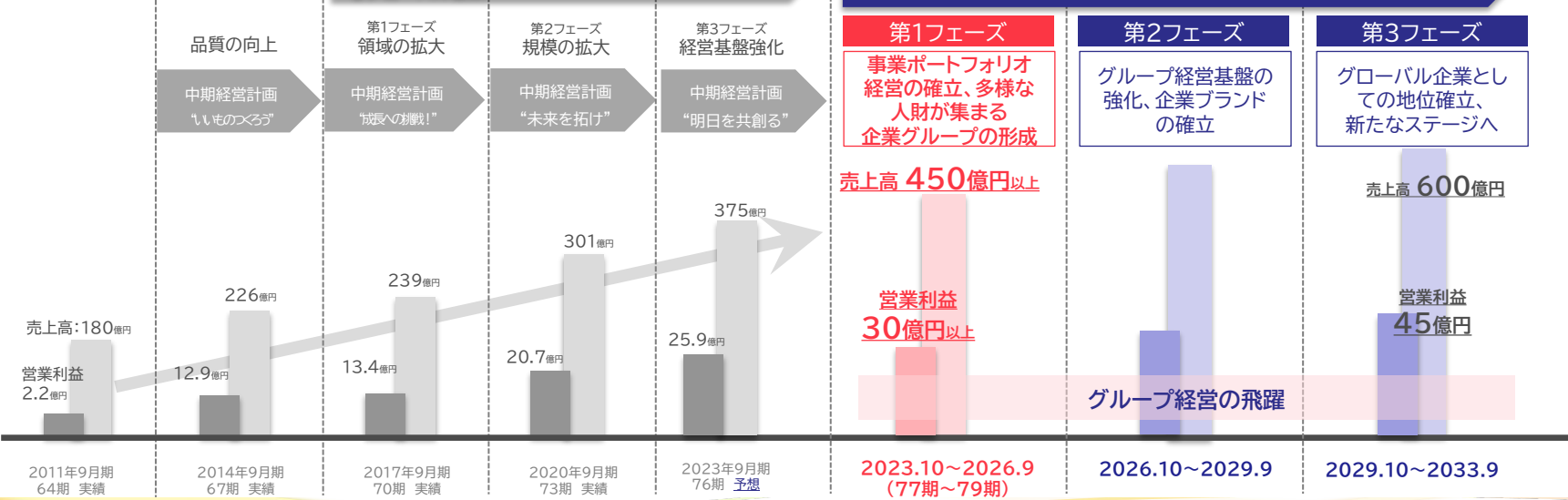
重点施策

事業戦略			
収益力の向上 成長市場への参入、生産構造改革により高収益分野に集約	積極的な成長投資 人材・研究・技術開発、投資など、イノベーションを後押しする投資の実行	ビジネスモデルの多様化 事業ポートフォリオを強化するマーケティング戦略の実行	品質と安全 法規制遵守、安全システムシステムの運用や関係する品質と安全の確保
AAS 長期ビジョン 2033			
サステナブル経営 ESGに配慮し、すべてのステークホルダーと共に成長する社会を実現	ブランディング エン지니어リング グローバルに活動するグローバル企業としての成長	ウェルビーイングの追求 従業員が成長意欲をもたせ、活躍できる環境の提供	ダイバーシティ & インクルージョン 多様な価値観が企業成長につながる企業風土の醸成
企業マネジメント戦略			

- AAS-DXの推進(AAS-DX5か年計画の推進)
- 主要分野事業の成長・生産構造改革と、新規事業への本格着手(『両利きの経営』の実践)
- 積極的な人的資本投資(育成・採用)と多様性を受容する風土・制度づくり
- 品質と安全の維持・確保
- サステナブル経営(コンプライアンス経営・SDGs経営の維持・発展)

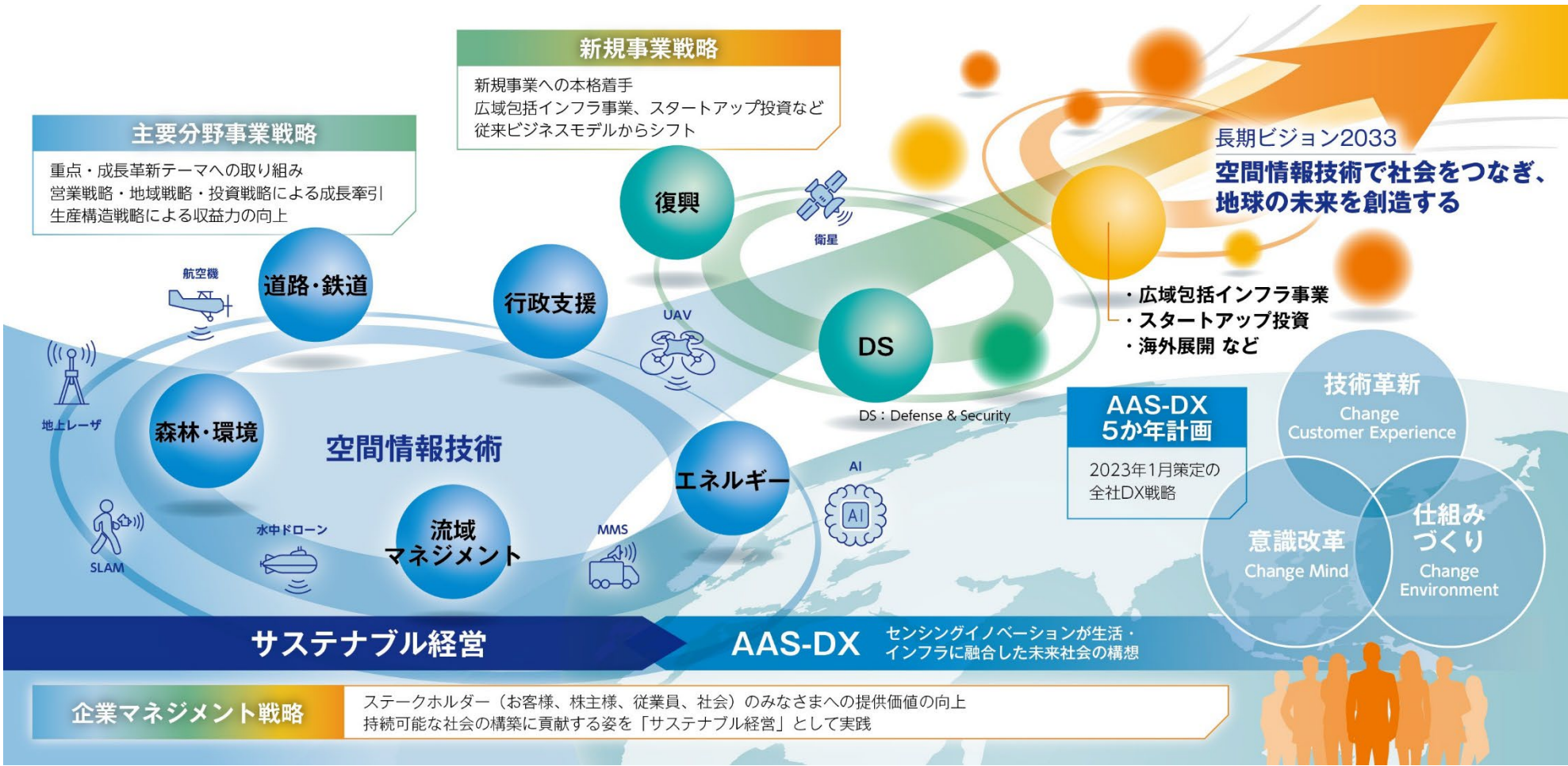
長期ビジョン:
新たな空間情報ビジネスの可能性に挑戦し、成長し続けるグローバル企業

アジア航測グループ 長期ビジョン2033
空間情報技術で社会をつなぎ、地球の未来を創造する



中期経営計画2026の全体像

- サステナブル経営、AAS-DXの思想を土台とし、事業戦略と企業マネジメント戦略の両輪で中期経営計画を構成
- 事業戦略は、空間情報技術を核とし、重点分野、成長・革新テーマ、新規事業への展開、事業ポートフォリオの多様化に取り組む
- 企業マネジメント戦略は、人的資本、安全と品質、脱炭素等をテーマとし、サステナブルな経営基盤を確立



中期経営計画2026 事業戦略

- 「安全・安心」「GX」「生産性向上」などの社会からの要請を背景に、当社のコア技術「空間情報技術」を核とし、主要分野事業、新規事業、分野横断の3つの観点から戦略を策定
- 事業ポートフォリオの強化に向け、新規事業創造、海外展開、M&Aに積極的に取組む

主要分野事業戦略

トレンド／社会課題

安全・安心
国土強靱化
国土防衛

GX
脱炭素・再エネ
地球環境

生産性向上
少子高齢化
労働人口減少

方針

- AASブランド技術を高めていく漸進的イノベーション
- 時空間データマネジメント・モニタリングサイクルを支える革新的イノベーション
- 激動する時流に対応する多角的経営に向けたAASグループ運営

重点分野

流域マネジメント事業

森林・環境事業

道路・鉄道事業

エネルギー事業

行政支援事業

成長・変革分野

DS事業

復興事業

※DS:Defense & Security

営業戦略

地域戦略

生産構造戦略

投資戦略

市場参入戦略

人財開発戦略

空間情報技術

コア技術を核として
ピボットし、
新規事業を創造

PIVOT

新規事業
創造

成長市場への
進出

国内外の成長市場に参入し、
新たな事業の柱を創造

ビジネスモデル
のシフト

エネルギー、行政支援(広域包括)等
の従来事業のビジネスモデルの転換

次の芽への
投資・市場創造

“多産多死”をいとわない投資制度
の導入、完全新規事業領域への挑戦

海外事業戦略

重点地域戦略

アジア、アフリカ地域
を重点地域とした
事業展開・市場開拓

技術サービス戦略

重点分野(地理空間情報、
森林環境保全)の対応、
成長分野(気候変動適用事業)への挑戦

営業戦略

ODA事業(主にJICA)、
国際機関・外国政府、
民間企業に営業展開

企業連携・M&A戦略

アプローチ

主要分野事業戦略、営業戦略、地域戦略、生産構造戦略、新規事業戦略等の各戦略に基づく連携パートナーの開拓、M&Aの実施

分野横断 戦略




中期経営計画2026 企業マネジメント戦略

● ステークホルダー(お客様、株主様、従業員、社会)のみなさまへの提供価値の向上=「企業価値向上」を基本思想とし、私たちの提供価値そのものが持続可能な社会の構築に貢献する姿を「サステナブル経営」として実践



企業価値向上戦略

お客様価値	安全意識の向上・法令順守を基本に優れた技術力で安定した品質の成果を提供し、お客様価値の向上に努める	従業員価値	時代に合ったコミュニケーション・職場環境、DXによる効率化や価値向上により、仕事と生活のバランスをとり、より働き続けたい企業へ
株主様価値	安定的な事業運営と成長、IR・PR等を通じた株主様との対話により、安定した関係の構築・維持・発展を目指す	社会的価値	地域社会との共生、エコ・ファースト関連活動を通じ、持続可能で安全・安心な社会の実現に向けた取組みを推進


人的資本戦略

教育・人材育成 健康経営推進	キャリアパス・教育の体系化と実践 ワークライフバランスの推進による 魅力ある企業づくり	
人事制度改革	従業員がライフステージに応じた働き方を 実現できる制度の充実化 人口減少社会を見越した採用施策の実施	


脱炭素戦略

脱炭素目標	CO2排出量42%削減(2030年) の目標達成に向けた取組み推進 SAF、再エネ電力の活用促進	
カーボン オフセット	計測技術を用いた森林クレジット 創出、SAF利用によるカーボンオフ セットの組み込み	


安全品質ガバナンス

安全確保 品質改善	航空安全や成果品質の改善サイクルの構築 総品質コストの最適化に向けた投資の実施	
ガバナンスの 維持・向上	コンプライアンス経営の徹底 不正・不祥事を許さない・生まな い経営	


事業継続

BCM・BCP	事業継続関連規定・マニュアル類の充 実、マネジメントサイクルの継続的改善 レジリエンス認証の維持	
代替拠点	首都圏直下型地震等の大規模災害発生時を 想定した代替拠点の機能検討と整備	

資本戦略

投資家・市場 への対応	流通性の改善、株主還元の拡大 コーポレートガバナンスコードへの対応	
IR・PR	情報開示・発信の充実、投資家との対話促進 サステナビリティサイト、統合報告書等を通じ た情報発信サイクルの運用	

IT・DX戦略

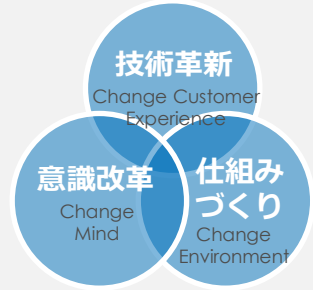
DX5か年計画	DX5か年計画に基づく各種施策実行 DX認定の維持、DX認定事業者とし て先進的な取組みの推進	
各種 IT施策	新基幹システムの運用定着と活用推進 サイバーセキュリティ対策、ネットワーク冗長化 等のインフラの強化	

中期経営計画2026 重点施策の概要(1)

AAS-DXの推進(AAS-DX5か年計画の推進)

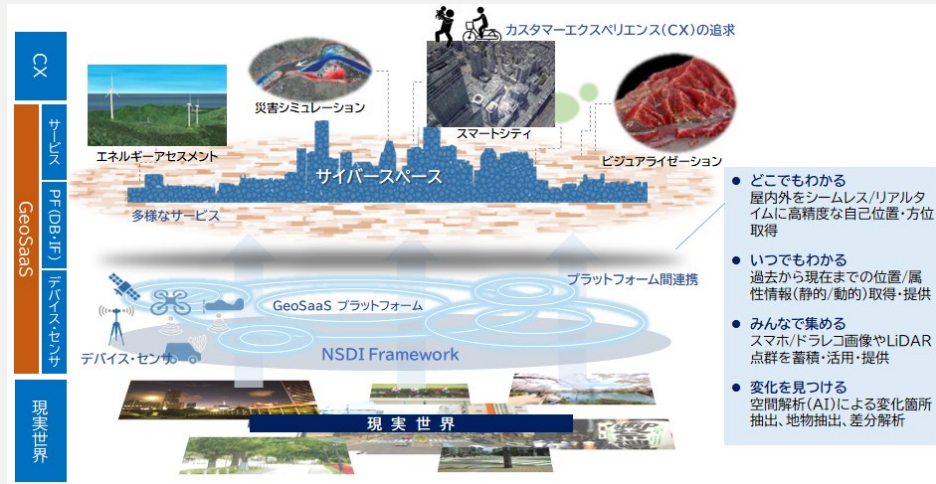
AAS-DX ビジョン あらゆるものを測り今を分析し
未来を予測する社会生活のイノベーション

- 前中期経営計画で掲げた「AAS-DX」(Asia Air Survey -Digital Transformation) 構想の実現のため、2023年1月に「AAS-DX 5か年計画」を策定、中期経営計画2026に本計画を継承
- 『技術革新』『意識改革』『仕組みづくり』を柱とし、各種取組みを推進中



α-GeoSaas® 新たな地理空間情報サービス基盤構想
GeoSpatial information as a Service

- AAS-DXビジョンを体現する実世界と融合した真のデジタルツインを実現するプラットフォームの構想



- どこでもわかる
屋内外をシームレス/リアルタイムに高精度な自己位置・方位取得
- いつでもわかる
過去から現在までの位置/属性情報(静的/動的)取得・提供
- みんなで集める
スマホ/ドローン画像やLiDAR点群を蓄積・活用・提供
- 変化を見つける
空間解析(AI)による変化箇所抽出、地物抽出、差分解析

α-GeoSaasはアジア航測の登録商標です

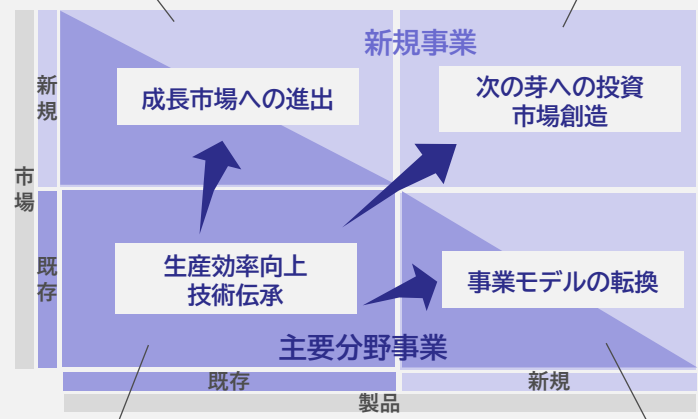
主要分野事業の成長・生産構造改革と、新規事業への本格着手

『両利きの経営』の実践 主要分野事業と新規事業の両立による成長獲得

- 主要分野事業は事業の成長と生産構造改革による利益率改善(深化)、新規事業は積極投資とアライアンスにより新たな市場・製品を開拓(探索)

成長分野の事業(国内外)を自社に取り込み、高い売上高成長率を確保する

スタートアップ等への投資によるスケール可能な新規事業の発掘、新たなコア事業の芽の創出

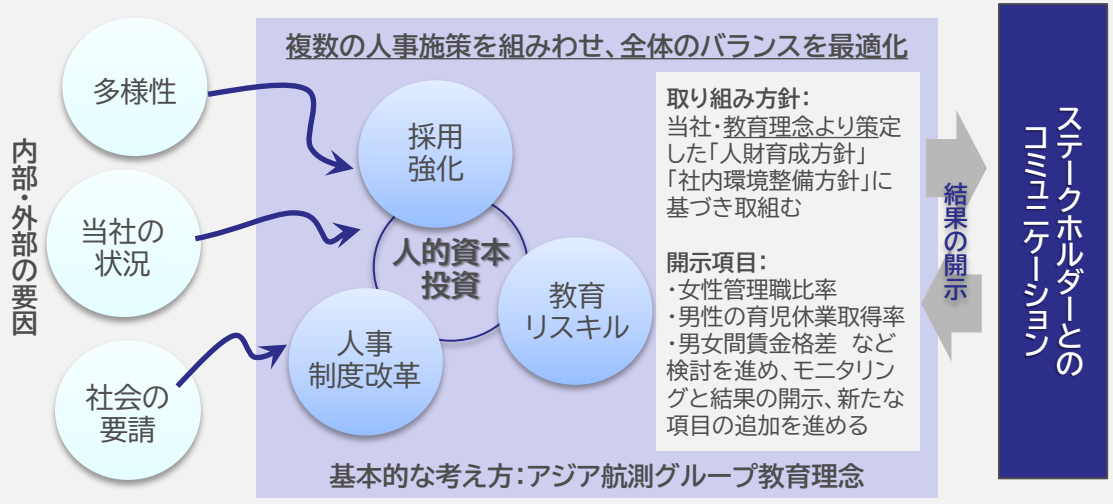


最先端技術を活用した省人化・自動化による生産性向上と、コア技術の確実な伝承と研鑽

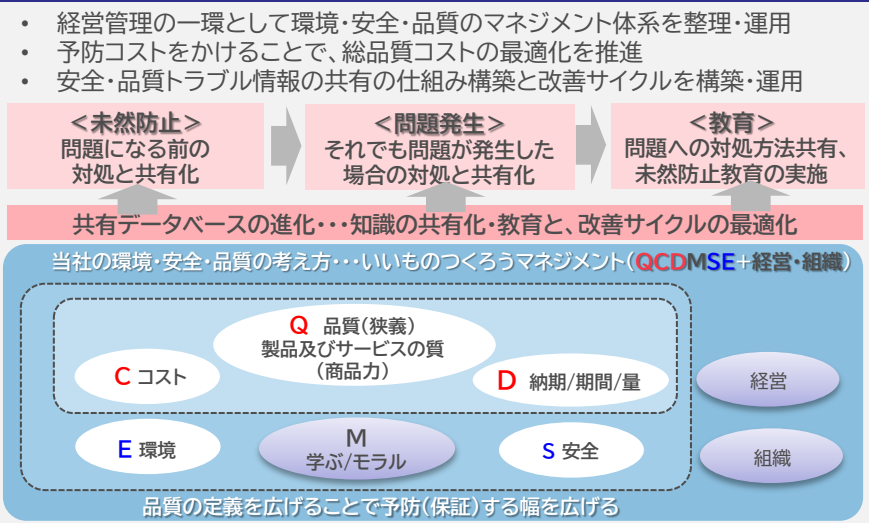
受託型からサービス提供型・事業運営型にシフトし、生産性を抜本的に高める

中期経営計画2026 重点施策の概要(2)

積極的な人的資本投資と多様性を受容する風土・制度づくり



安全の確保 と 品質の向上



サステナブル経営(コンプライアンス経営・SDGs経営の維持・発展)

コンプライアンス経営

- 法令等の遵守はもとより、社会の構成員としての企業人、社会人として求められる価値観・倫理観に基づき誠実に行動
- その行動を通じて公正かつ適切な経営を実現し、市民社会からの要請に応え、AASグループを創造的に発展させていく

【実施施策】

1. ユニットコンプライアンス活動の推進
2. 相談・通報窓口の周知徹底
3. コンプライアンス研修の実施
4. コンプライアンスに係る情報発信・共有
5. 全役職員向けeラーニングによる教育の実施

サステナブル経営



サステナブル経営

SDGs経営

環境配慮経営

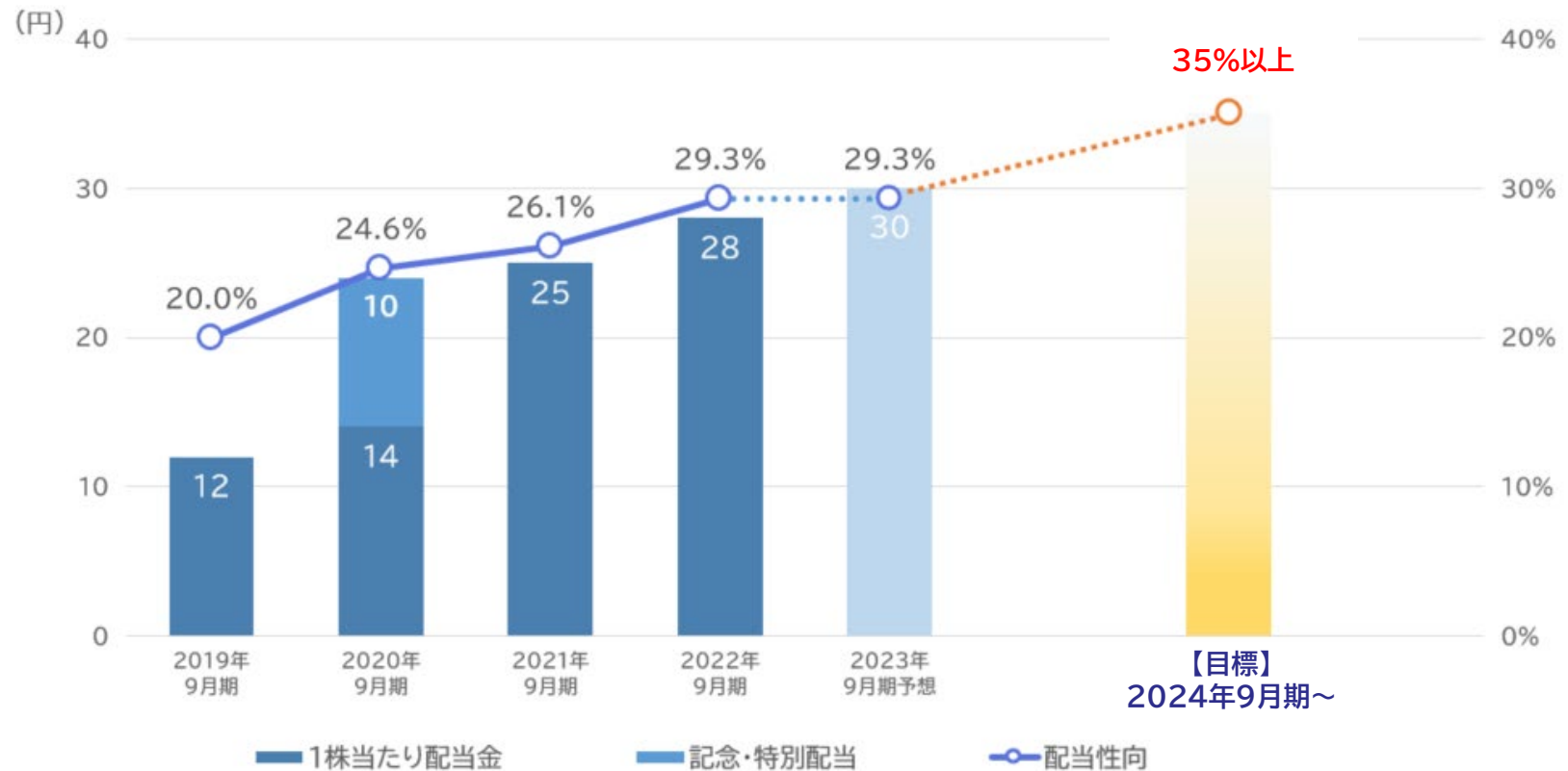
- ・環境配慮企業の取り組み
- ・低炭素社会の実現に貢献
- ・環境保全事業への参加、自然環境への配慮
- ・企業の社会貢献、社会的責任
- ・制度や法令への対応
- ・環境コスト削減への対応
- ・企業のCSR活動

- ・エコ・ファーストの実行
- ・脱炭素社会への移行に貢献
- ・2050カーボンニュートラル表明
- ・脱炭素目標の設定(42%削減)
- ・国際イニシアチブ水準の取り組み
- ・脱炭素経営と事業分野の連携
- ・自然共生社会の実現に貢献
- ・健康経営の推進
- ・ESG等に関する活動の開示

- ・提供価値そのものが持続可能な社会の構築に貢献
- ・社会のサステナビリティと自社のサステナビリティを同期化
- ・従業員が最大限パフォーマンスを発揮できる環境の提供
- ・ステークホルダーとのさらなる相互利益のある関係構築
- ・法令遵守、安全・品質確保による信頼につながる基盤を構築

中期経営計画2026 資本政策

- 「配当性向35%以上」を目標とし、継続的かつ安定的な株主還元を基本方針とする



本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したもので、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢・競合状況・天候等に関わるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。